

ぴっぷのキラリ☆輝く町民活動を紹介

比布町文化連盟
ぴっぷ歌謡サークル
 歌で元気ハツラツ!



会長の奥山八郎さん



昨年3月の文化連盟発表会に出演

ぴっぷ歌謡サークルの奥山会長にお話を聞きました♪

Q 今までの苦勞話を聞かせてください!

35年前に合田敏さんをはじめ、少人数で設立しました。カラオケが全盛だったので、次々と入会者が増えたため、つらいと思ったことはありませんでした。

Q サークルの目標や合言葉はありますか?

いつも「和」を大事にと話しています。家族のような仲間であるとの意識を持つことを考え、会員には話しています。

毎年、近隣カラオケ交流会を開催し、約130名で15団体以上の方々と楽しんでいます。施設慰問は特に喜んでもらえるので、今後も機会があれば

ば行きたいと思います。

また、地元のおそか苑にも毎月歌謡指導に行っています。会員さんとは年齢にこだわらず、歌を歌い続けていきたいと思っています。

Q 文化連盟の副会長として思うことは?

文化連盟の芸能発表会の出演者も少なくなり、寂しくなりましたので、形を変えてのサークル合同発表など、地域の皆さんが発表の場や見る人も楽しめることを考えていくことが必要ではないかと思っています。同じ趣味の人が集まり、新たな会をつくって、ぜひ、文化連盟に加盟してくれることをお待ちしております。

上川中央部5町議会議員研修会・・・2月8日(木)

上川中央部5町議会議員の研修会が比布町で開催されました。

最近新設された比布駅、そして、ぴっぷスキー場無料休憩施設スキップの紹介とそれぞれの活動について研修していただきました。

まず訪れたのは、比布駅ピピカフェと駅の待合施設です。

昨年、大盛況だったグランドオープン(約1,500人集客)を終え、大小さまざまなイベントを32回開催した経過やその集客の様子などをパンフレットを使って説明しました。

次に、スキー場スキップ内で建設までの経過や設置目的の説明、そして建物や設備の説明、冬期間のイベントの様子などをお話しました。

その後、遊湯ぴっぷにて懇親会が開かれ、意見交換が盛んに行われていました。

共にカムイミントラ(神々の遊ぶ庭)を守る同志として友好を深めた一日でした。

植西 浩一



■ピピカフェ内で町担当者から説明



■スキップ内での説明の様子

中央小学校6年生が 比布町活性化プロジェクト 意見発表会

みんなで考えた! よりよいマチにするための提案!!



★プレゼンテーションのはじまり



★比布のままであってほしい...私たちの願いを発表



★議員からの質問コーナー



★取り組んだ課題から新たなアイデアの発表

3月6日(火)総合学習授業として、中央小6年生と担任の大島先生が、役場議場を訪問してくれました。

今回の来訪は『比布町活性化プロジェクト』と題し、昨年5月の修学旅行先(札幌市・小樽市)にて、観光客100名にインタビューすることから開始されました。

その後、3グループに分かれて調査結果を分析し、聞く立場に理解しやすく説明することを前提にデータ化された発表内容は...

1 観光活性化チーム

- ・スキー場周辺でバナナボート体験を行い、知名度を上げる。
- ・空き地や空き店舗をリフォームし、比布に住んでもらう。

2 比布の魅力を伝えるチーム

- ・駅にレンタサイクルを配置し比布の自然とイチゴ狩り、摘んだイチゴを駅カフェに持ち帰りイチゴパフェも楽しんでもらう。
- ・有名神社百選に選定される比布神社は、日本最北の樺(けやき)の木と、縁結びの神がまつられ、マスコットを作りSNSで拡散し、知名度を上げる。

3 人口増加を考えるチーム

- ・0歳児から幅広い年齢層が集まれる場所をつくり、子どもからお母さんたちも仲良く交流してもらう。

各項、利点・欠点の影響も想定され、素直な優しさと現実性が伝わり、称賛する場面も多々ありました。

子どもたちの純真で自由な発想(原点)を顧みつつ、今後のまちづくりに努めてまいります。

この度、貴重な機会をいただきました島学校長と担当教諭の大島先生・精鋭25名に、心よりお礼申し上げ、卒業生からのプレゼンテーション報告といたします。

佐藤 康則